

# 国土交通大臣賞

## 講評:

築後35年を経た分譲マンションの賃貸住戸に住む若い夫婦が、自己負担で室内を改装することを思い立ち、家主の了解のもとで実施された例である。

設計者は、二人の子供達が小学校を卒業するくらいまでの期間しか住まないという「施主の割り切り」と、賃貸住戸なので「現状復帰が可能である事」を設計の根幹に据え、子供が男女であっても、オープンな空間で親子お互いの気配を感じつつ、広々と使えるプランを提案している。さらに、施主夫婦の要望であった「日常的でないスペースの創出」や「十分な収納の確保」にも成功している。

プランは、収納を3列に並行に配置したことで閉鎖的になりがちなマンション住戸において光や風を通しやすくするだけでなく、回遊化も図られている。また、水回り以外はほぼ一室空間であるが、持ち出し式鴨居レールによって引き出される3箇所の障子により、スペースを柔らかく仕切られるようになっている。このあたりは和風にも洋風にも属さない新しい感覚を生みだすのに成功している。

ジャイアントファニチュア的に作った収納家具類は、高さをほぼ1800mmに抑え天井側を広く開けている。これは室内を広々と感じられるようにする工夫である。円形に空けられた開口や上段のベッドの深さなどは、非常に注意深い寸法設定がなされている。特に円形開口の内側に身を潜めると、外側が見えるのにもかかわらず、作業などに集中できる落ちついた感じをうまく作り出している。限られた面積で落ち着いたスペースを創出する有効なアイデアと言える。

ヒノキのムクの小節材を張った床、珪藻土塗りの小壁と天井は、住宅に馴染みリラックスした印象を与える。

全体工事費400万円、施工期間7日というのも、施工側の努力をしのばせるものがあり、合わせて評価したい。

近年マンションリフォームの応募数が増えているが、それらのほとんどは分譲であった。しかし、日本の住宅の質の向上をはかるためには賃貸住戸の改善が強く望まれる。その解決策の1つとして、この作品は貴重な示唆を与えており、魅力的な生活空間を具体化してみせた意義は大きい。

以上の理由により、国土交通大臣賞に推薦した。



国土交通大臣賞

第20回 住まいのリフォームコンクール

気配の感じる家 2

賞賛共同建

総合

リフォームの動機/設計・施工にあたって工夫したこと

- ・築35年になる46㎡、3DKの分譲マンションを賃貸住宅として住むためのリフォームで、インテリアは動線を回避し、既存扉以外は全て引き戸を採用しました。又、奥さんが困っていた玄関扉を開くと台所が丸見えになってしまうことを解消する為に障子スクリーン引込戸を3箇所へ採用、生活の各シチュエーションにあった使い方ができる可変性豊かな空間が生まれています。片廊下タイプマンションの通風の確保にも役立っています。
- ・賃貸住宅であることから、原状回復が容易な工法を採用、スケルトンの空間インフィルとして収納、ベット、DEN、食卓、本棚等をランバーコア合板で制作したジャイアントフタニチャーの構成で成り立っています。
- ・自然素材の採用、床は桧板厚17.3mm、壁は内法から下はシナ合板、小壁と天井は珪藻土塗りしました。障子スクリーンも含めシンプルな構成で飽きのこないデザインを目指しました。
- ・インテリアは動線を回避し、既存扉以外は全て引き戸を採用しました。又、奥さんが困っていた玄関扉を開くと台所が丸見えになってしまうことを解消する為に障子スクリーン引込戸を3箇所へ採用、生活の各シチュエーションにあった使い方ができる可変性豊かな空間が生まれています。片廊下タイプマンションの通風の確保にも役立っています。
- ・DENの要素を含んだスペースを3箇所作り、子供が勉強したり、お父さんのPCスペース、お母さんの裁縫等緩やかな共有を試みます。丸い穴を穿ったスペースは子供の勉強室でもありますがお父さんが読書や書物をするスペース隠れ家としても活用しています。又、食卓を台座を横にすると座卓に変わり友達を呼んだ時お茶のみ居るスペースにもなります。

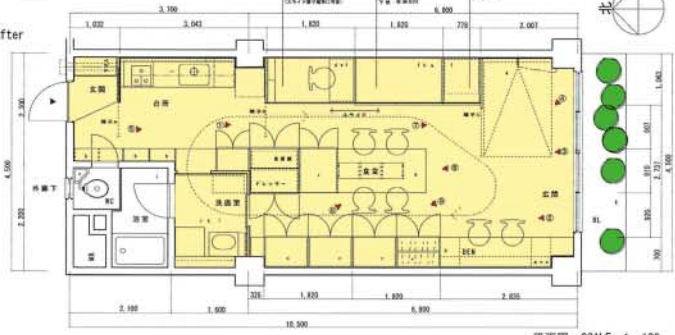
リフォーム前



改修前 SCALE=1:200

- ワークスペースゾーン  
・旧書、読書コーナーを設け、自然、ワークスペースコーナーを設け、ワークスペースではアイロン掛け、ミシン、パソコン等を置くスペース。  
・床裏にはコンパウトにまとまっているため、メンテナンスも容易。
- 収納・収納ゾーン  
・奥行約30cm、開口は20cmのボックスに収納スペース、1階の扉を1階に移動する。その上の子部屋のワークスペースを設ける。  
・食卓のベットスペースはその前後に設置。  
・食卓のベットは立て掛けて日中は収納にできないように工夫しています。
- バススペースゾーン（可変空間ゾーン）  
・壁、床、天井で構成される空間は可変空間作り（壁がスクリーン、窓、窓）によっていろいろな用途に対応できる。
- 採光確保 採光確保をより快適にするために「採光確保」窓、ワークスペース、食卓、食卓、食卓とワークスペースに設置することで作業の快適性等が向上する。

Before → After



平面図 SCALE=1:100

データ			
所在地	東京都世田谷区		
構造・築年数	鉄筋コンクリート造	築後年数	35年
工事面積	該当面積 41㎡	総工事床面積	46㎡
居住者構成	4人(大人2人(うち高齢者1人)/子供2人) ペット		
竣工時期	平成14年	7月	
設計・工事期間	実設計期間 30日間	施工期間	7日間
工事費	該当部分 400万円	総工事費	400万円
設計者	建築計画シングデザイン 担当者名 佐々木 成美、佐々木 千東		
施工者	建築計画シングデザイン 担当者名 佐々木 耕太		



リフォーム前



リフォーム後



造作の際はこの襖で折って下さい